

佐倉中学校の生活

◎新年度のスタートです。学校生活の約束を確認し、落ち着いた生活が送れるようにしましょう。

1 登校

①元気な「あいさつ」を先生や先輩、友人、地域の方とかわし登校しよう。

②8:00には校門を通過して、8:05には入室をしましょう。

③8:08分登校完了となります。8:08分に着席し、健康観察を受けられるようにしましょう。担任の先生が呼名をします。元気よく返事をしましょう。この呼名に間に合わないと遅刻です。

④衛生委員は、着席完了までに健康観察板を職員室前の棚から自分のクラスのものを持ってくる。
(健康観察板の提出・出欠黒板への記入は、1校時の休み時間までです。)

※遅刻・欠席の際には必ず学校に保護者から(マチコミで)連絡してもらって下さい。

・基本的に授業は制服で受けます。体育や技術・家庭科、美術などは体操服、ジャージで授業を受けます。
(着替えのタイミング・決まりについては、担任の先生から説明を受けてください。)

2 清掃

①時間を守るように早めに移動し、素早く取り組みましょう。

②分担や手順を班で決め、時間いっぱい取り組みましょう。

③清掃の後始末をきちんと行い、終了のあいさつを奉仕委員(係)を中心に全員で行いましょう。



3 朝の読書タイム

①服装を整えて、姿勢をよくして読書タイムに取り組みましょう。

②読書タイムの時間は1日10分、1年間の登校回数が約200回で、2000分(33時間20分)です。1日わずか10分の時間ですが、多くの本を読みましょう。

※マンガ、雑誌等は持ってこない。無言で読書に取り組みお互いにマナーを守りましょう。

※宿題や自習を行う時間ではありません。

4 朝の会 (話を聞く態度を学ぶ大切な場である)

①朝の読書終了後、朝の会が始まります。

②無駄話をせずに係に協力しよう。

5 授業

①開始時間を守る。そのためには、3分前になったら係を中心に呼びかけをしよう。2分前には授業道具を用意して着席をしよう。何より各自の時間への意識が大事です。

②チャイムで授業の開始の「あいさつ」ができるようにしよう。

③服装や授業の約束をきちんと守りましょう。

④教科書や道具の貸し借りをしてはいけません。

⑤持ち物(ノート、教科書、ワークなど)には、必ず記名をしよう。

6 休み時間

①休憩時間は、次の授業の準備とトイレ等を済ませるためにあります。まずは、次の授業の道具を机に用意しましょう。

②移動教室の際には、週直が必ず戸締まり・消灯をしよう。(移動教室は鍵をかけます)

③休み時間に限らず他の教室への出入りはいけません。他学年の活動場所に行くのもやめましょう。

④廊下や階段は静かに移動しましょう。廊下を走るのもやめましょう。



7 給食

- ①給食当番は、素早く移動しよう。(マスク・白衣の着用)
- ②4校時の授業終了後、5分間でトイレ・手洗いを済ませて着席しましょう。
- ③「いただきます」の時間は、12:45です。「ごちそうさま」の時間は、13:05です。

8 昼休み

- ①机を戻し、次の授業の準備をしましょう。
- ②室内・廊下では、落ち着いて過ごしましょう。
- ③予鈴が鳴ったら、着席をしましょう。移動教室の場合は、2分前着席ができるように素早く移動しましょう

9 帰りの会 (話し合いの進め方・話を聞く態度を学ぶ大切な場である)

- ①話をしっかりと聞きましょう。
- ②係や先生の話をしっかり聞いて「飛翔」(生活ノート)に記入しましょう。
- ③「歌」はしっかり大きな声で歌いましょう。共に生活している仲間との団結を歌声で表しましょう。

10 放課後

- ①帰りの会が終了したら、週直は、週直活動をしっかり于行おう。
- ②部活動への移動(部活動の開始は帰りの会終了後約10分後です。),下校も素早くしましょう。
放課後、用もないのに教室に残らないようにしましょう。
- ③他のクラスの前で、友達を待つことはしないようにしましょう。

※学活・授業・給食など他のクラスが活動中は教室をのぞき込まないようにしましょう。

11 下校

- ①一般下校・最終下校時刻を厳守しよう。
- ②交通ルール、マナーを守り安全に注意し下校しよう。
- ③寄り道や買い食い等は絶対にしない。

令和4年度（新）佐倉中学校生徒の生活の決まり（男女共通）

佐倉市立佐倉中学校

中学校は、仲間と楽しく、勉強や部活動に打ち込み、将来の目標に向かって自分を成長させようと日々努力する場です。

仲間と共同して生活するためには、きまりやルールが必要です。また、きまりやルールを守ってはじめて、安心した学校生活が可能になります。いじめや差別がなく、皆が安心して勉強ができて、仲間と協力して苦しいことを乗り越え、ともに成長していく。それが学校のあるべき姿です。より安全で、気持ちよく豊かに生活し、学習や部活に集中するために、学校生活にはいろいろなルールがあることを理解してください。

①そのまま入試に向かえる身だしなみであること。

②学校は勉強に励む場であり、おしゃれをする場ではないこと。

③通学用ヘルメットや、制服を着用する上で支障がないこと。この3点を軸に、令和3年度生徒会本部役員、評議員、生活委員、そして先生方と相談して、この決まりを定めました。判断に迷った時は、①、②、③を思い出して行動してください。

1 頭髪・眉毛・爪について

項目	○前髪は自然な形で目にかからないようにする。
髪型	○肩にかかる髪は、黒・紺・茶色系の単色のゴムを使い、「ひとつ」または「ふたつ」に結ぶ。 （結び目はおおそ耳の高さ。） ○頭髪は自然な形にする。奇抜で華美なスタイルにはしない。 *整髪料については、特に制限をしないが、おしゃれ目的での使用はしないこと。使用する場合は、無香料の物にすること。また学校には持ち込まないこと。
眉毛	○まゆをいじらない、さわらない。（眉そり、脱毛、染色、カット、そろえ等） *特別な事情がある場合は、担任に申し出て、許可をもらうこと。
爪	○爪は短くそろえ、手を加えない。 （爪磨き・マニキュア・染色・宝飾等） *爪磨きについては、特別な事情がある場合は、担任に申し出て、許可をもらうこと。
その他	○春・夏・冬の長期の休み中、ゴールデンウィークを含む休日中でも、頭髪・まゆ・爪のきまりは守る。

2 服装について

項目	○標準学生服とする。加工や変形はしない。
服装 (冬季)	○上着の下は白長袖Yシャツを着用する。 ○Yシャツの第1ボタンを閉め、ネクタイ・リボンを着用する。 ○スカートは膝全体が隠れる長さとする。

服装 (夏季)	<input type="radio"/> Yシャツは白のみ。開襟シャツは不可。 <input type="radio"/> Yシャツの第2ボタンは常にしめる。 <input type="radio"/> ズボン着用の場合は指定の紺の学生ズボン。 <input type="radio"/> ズボン着用の場合は、ベルト（黒）をしめる。 ※極端に太いものや細いもの、穴のたくさんあいているもの、装飾があるものは不可。 <input type="radio"/> スカート着用の場合は、膝全体が隠れる長さとする。 <input type="radio"/> スカート着用の場合は、学校指定のベストを着用する。
服装 (その他)	<input type="radio"/> Yシャツの下には白色無地（ワンポイント可）の肌着を着用する。（体操服可） <input type="radio"/> ジャージを防寒着として着用することを認めない。（冬季） <input type="radio"/> ピアス等の装飾品は身に付けない。 <input type="radio"/> 雨の日の登下校については、ジャージ着用を認める。
名札	<input type="radio"/> 登校後、制服に着替える際に、左胸にピンでとめる。帰りの会后、生活係が集めて学級に保管する。防犯上、学校生活以外では着用はしない。
靴下	<input type="radio"/> 式典など対外的行事の際は、白のスクールソックス（ふくらはぎが半分くらい隠れる）とする。 <input type="radio"/> 白・黒・紺とし、模様等は華美でないものとする。 但し、部活動中については、各部活動の規定に従う。 <input type="radio"/> くるぶし全体が隠れるものとする。 <input type="radio"/> 冬季は、ストッキング、タイツは着用可。色は黒で無地のもの。

3 上履き・通学靴について

上履き	<input type="radio"/> 本校指定の上履きとする。 <input type="radio"/> 靴のベロの裏側に必ず記名する。
通学靴	<input type="radio"/> 運動ができるランニングシューズとする。

4 通学のカバンについて

<input type="radio"/> カバンは、両肩で背負うことができ、教室のロッカーに入るものとする。 <input type="radio"/> 用具が入りきらない場合には補助バックを使用しても良い。 <input type="radio"/> 休日の部活動については、部で定めたもので通学可。 <input type="radio"/> 識別用としてのアクセサリは1個まで認める。

5 防寒着について

○セーター

- ・紺、黒など華美でないVネックのセーターとする。カーディガンは形状によっては制服着用には支障をきたす場合があるため不可。
- ・柄や編み込み模様のないもの。ワンポイント可。
- ・袖（そで）と裾（すそ）がブレザーからはみ出さないように着用する。
- ・セーター姿での登下校は行わない。

※そのまま廊下に出てもよいが、移動教室時、授業の開始時は上着を着用する。

○コート

- ・形はスクールコート、Pコート、ダッフルコート、（ベンチコートも可とするが部活動で購入した物のみ。）
- *自転車通学の際は安全面への配慮からベンチコートタイプは着用しない。
- ・部活動で購入したものの着用も可。
- ・スクールコート・Pコート・ダッフルコートの色は華美でないものとする。
- ・コート類は教室のロッカーにしまう。入らなければ、担任に相談の上、学年室で保管する。

○手袋

- ・自転車通学者はミトン型（5本指に別れていない）を認めない。（安全のため）

○マフラー

- ・安全のため、首にしっかりと巻き、前や後ろで長くたれ下げない。
- ・ネックウォーマー可。

※コート、マフラー、手袋については室内では使用しない。

○ひざ掛けは必要に応じて可。無地で、華美でないもの。ロッカーに入るサイズの物で持ち運びしやすいもの。

○使い捨てカイロは使用してよいが、確実に持ち帰る

6 衣替えについて

○夏服・冬服の期間は、原則として次のとおりとする。ただし、気温等を考慮して変更もありうる。

（下記は目安）移行期間を2週間設ける。

夏服：6月～10月 冬服：10月～5月

7 不要物について

○学用品以外の必要ないものは、学校に持ってこない。

○学校に必要なものを持ち込んだ場合は、学校あずかりとする。指導後、保護者に直接返却する。

○貴重品については、必ず朝の会までに担任の先生に預けて、帰りの会で返却してもらう。

8 校外での生活について

○法に触れる行為を絶対にしない。

○登下校を含め、交通ルール・マナーを守り、地域に迷惑をかけない。

（自転車並列走行はしない、広がって歩かない、他人の土地に勝手に入らない等。）

○学校の登下校中、休日の部活動の登下校中に買い食いはいはしない。

※特別な事由で、学校生活規定の内容で質問や相談がある場合には、事前にその理由等を保護者から担任に問い合わせる

1 生活班・班活動・班編成

◆ 生活班は、学校生活のいちばん基本となる集団です

○人間関係

学校生活の中で、一緒に学習したり、給食を食べたり、掃除をしたりする一番身近な仲間が班の仲間です。いわば学校の中の「家族」のような存在です。

好きなもの同士ではなく、いろいろなタイプの人が集まっています。お互いの個性を認め合い、仲良くなったり、協力できる力をつけていきましょう。

○日常活動

清掃、給食当番、週直の3つの活動を班で担当し、協力して役割を果たします。

班の中では、一人ひとりが役割を分担して、それぞれが責任を果たします。

班の一人ひとりが、委員会の仕事を担当し、日常の委員会活動(係)も班で行います。

○学校行事

校外学習やキャンプ、修学旅行などの校外学習での学習や活動は、生活班で取り組むことが多くあります。日常の班活動で養った力を十分発揮して、行事を成功させましょう。

◆ 班編成の方法

○学級運営委員(級長・副級長・班長)と担任の先生が、次のようなことを考えて、班編成(案)をつくります

- ◇ いろいろな個性が集まるようにする
- ◇ 6つの班が、平等・公平・バランス良くなるようにする
- ◇ 学級全体が向上していくようにする
 - ・各クラス6班、5～6人
 - ・できるだけ男女同数
 - ・5委員会(生活・学習・奉仕・衛生・歌声)の各委員(係)が1名ずつ入る
 - ・集団内異質、集団間等質(気の合う仲間でなく、いろんな人間の集まり)
 - ・リーダー性、運動能力、性格、学習能力のバランス
 - ・今まで仲の良い人でなく、新しい人間関係が生まれるように

○班替えは、6週間～3ヶ月に一度行う予定です

学期や行事の区切りで、班替えを行います。班が変わるときには、別れが寂しくなるくらいの仲間作りをしたいですね。

(4) ノートは宝物(ノートについて)

授業でもう一つ大切なことは、ノートをしっかりととることです。ノートは家庭で復習やテスト前の学習になくってはならないものです。また、それだけでなく手を動かしてノートに書くことで、より意識して学習に取り組むことができ、覚えたり理解できたりすることができます。まずは先生が黒板に書いたものをきれいに整理することからはじめ、だんだんと工夫したノートがとれるようになってください。

2 週直活動

◆活動のねらい

- 学級で一日に必要な役割を順番に分担し、学級の中で責任を果たす。
- 班単位で受け持ち、協力して活動に当たる（1週間交代）
- それぞれの活動を行うことで、一人ひとりに社会的な力をつける。

◆主な役割

○朝の会、帰りの会の司会

- ・プログラムに従って、司会進行をする。
 - ・台本を読むのではなく、しっかりと自分の言葉で進行できるようにする。
 - ・みんながしっかりと参加しているかにも気を配り、聞いていない人には注意をする。
- ※朝の会、帰りの会を時間通り始めるために、週直班全員で行動する。

○黒板、チョークの管理

- ・授業が終わったら、次の授業が気持ちよく始められるように、黒板をきれいに消す。
- ・黒板消しは、クリーナーを使って常にきれいにしておく。
- ・必要なチョークがあるか点検し、足りないときは補充する。
- ・黒板、背面黒板の確認（きれいに消す、日付を替える。）

○教室移動時の窓、電気の確認

- ・早めの教室移動を呼びかけながら、できるだけ最後に教室をでて、戸締まりをする。
- ・電気は、必ず消す。（戻ってきたときは、つける。）
- ・窓は、風や外部からの進入のないように、原則として閉める。

○学級日誌の記入

- ・毎日の記録を残す。事実記入のみならず、学級の状態を評価できるようにする。

○放課後の清掃・机いすの整頓

- ・給食、昼休み後の教室の学習環境を整える。
- ・ゴミのチェックや机の整頓など。
- ・ゴミ箱の確認 [毎週末に、週直班の奉仕係が捨てて帰る。]
- ・ロッカー、清掃用具入れ、雑巾かけ、ストーブ、棚等の確認（整理・破損の有無）

○最終戸締まりの確認

- ・用のない生徒を教室から出す
- ・戸締まり
- ・消灯
- ・カーテンをヒモで束ねる

***班長が号令をかけ、全員で挨拶をして終了する。**

3 給食について

「食べること」は人間が生きていく上で欠かせない大切な営みです。学校では、「昼は給食を食べる」ことが日常ですが、毎日の活動だからこそ大切に考えていきましょう。楽しく、感謝の気持ちを持って、そしてマナーを守って給食の時間を過ごしましょう。

◆給食の心構え

1 「給食は自分のものではなくみんなのもの」という意識を持つ

- ・ひとつの食物をみんなで平等に分けよう。
- ・みんなで一緒にいただきます、ごちそうさまをして、一緒に食べよう。
- ・みんなで協力し合って準備、後片付けをしよう。
- ・みんながおいしく食事ができるためにはどうしたら良いのかお互いに考えられるようになる。楽しくマナーを守って食べよう。

☆自分さえ良ければよいという考えは持たない。自分だけ先に食べたり多く食べたりなど勝手なことをしたり、協力できなかつたりするとみんなが食事をとれなくなってしまう。

2 作ってくれた人への感謝の気持ちを持つ

- ・育ち盛りの中学生のことを考え、栄養のバランスがよく、好みも考慮して栄養士が献立を考えています。
- ・約500人分の食事を少人数の調理員さんが朝早くから作っています。
- ・なるべく残さないようにしよう。
- ・一生懸命作ってくれたものには、ていねいな後片付けでこたえよう。

*食器は大切に扱おう。

3 きれいな環境で気持ちの良い食事をしよう

- ・手洗いを必ず行おう。
- ・当番は必ず白衣とマスクを着用しよう。自分だけでなく友達の食事の責任も担っています。
- ・教室が食事の場として使われます。日頃から教室を清潔に保つようにしよう。

◆給食当番のやり方

1 当番の活動と配膳の仕方

- ・2つの生活班が1週間交代で担当する。（「給食当番」班と「お手伝い」班）
- ・「給食当番」班は盛り付けを優先して行う。
- ・「お手伝い」班は、配布を手伝う。
- ・他の班は静かに座って待つ。

2 白衣・帽子について

- ・「給食当番」は必ず白衣と帽子とマスクを着用する。
着用しなければ配膳室には入れません。
- ・毎週金曜日に当番は白衣を持ち帰り、洗濯をして月曜日に持ってきます。
家に忘れた場合・・・うちの人に届けてもらえるなら届けてもらうが、できない場合は予備白衣で給食当番を行う。

3 配膳室について

- ・学級ごとのワゴンが用意されているので2人の当番で取りに行く。
- ・ワゴンは、後ろから押して使用する。 ※ワゴンには絶対に乗らない。
- ・白衣を着用していないとワゴンを受け取れない。
- ・盛り付けは「給食メモ」を確認する。

◆食事の仕方

- ・「いただきます」、「ごちそうさま」は必ず全員でしましょう。
- ・必ず教室で食べること。
- ・食事中は教室外へ出ない。やむをえず出る場合は必ず先生に許可を得ること。
- ・「いただきます」から「ごちそうさま」までは立ち歩いたり、席を替えたりしないこと。

後片付け，残菜，ゴミについて

- ・なるべく残らないよう配膳を工夫しましょう。家には持ち帰らない。
- ・残菜，ゴミの分別については掲示物をよく見てください。

紛失，破損について

- ・白衣・・・紛失したときは担任に報告する。
- ・食器類・・・必ず破損届けを提出する。

給食の時間の約束事を確認しよう!! *給食の時間は、みんなでおいしく・楽しく・平等・衛生的に!!

時間	◎当番 ☆お手伝い班	係でない生徒	衛生委員会(係)
12:25	授業終了 (移動教室の場合は 急いで 教室に戻ろう)		
	<ul style="list-style-type: none"> ○急いで手洗いを済ませましょう。 ○白衣と帽子をきちんと着用しよう。 (前髪は帽子の中に全て入れる) ○配膳台係は配膳台を準備し、バケツに水を入れきれいにふく。(教卓もふいておこう) ○ワゴン係(3人)のうち、2人はワゴンを運び、もう1人は牛乳パック返却カートンを持ちながらワゴンを運ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すみやかに手洗いをし、静かに着席する。 (手洗いの際はハンカチを使おう。) ・手洗い・消毒後は何も触らない!! 	<ul style="list-style-type: none"> ・急いで手洗いを済ませよう。 ・手洗い場でハンカチの使用と5分後着席を呼びかけよう。 ・給食当番チェック表を記入する。
12:30	ワゴン到着 (遅くとも)		<ul style="list-style-type: none"> ・班員が5分後着席できたかチェックする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ワゴンから食器等を配膳台に移動する。 ○当番は全員均等に盛りつける。 ☆お手伝い班は当番が準備できたら配膳の手伝いをしよう。 ☆お手伝い班は確実に配ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静かにしている。ふらふらしない。 	
12:45	全員揃ったら感謝の気持ちを込めて「 いただきます! 」		
	<ul style="list-style-type: none"> ○黙食をしましょう。 ・食事中は立ち歩いたり、席を変えたり、教室を出たりしないようにしよう。 中座：会食中に席を立ってしまうことで、日本では古来大変失礼な事とされてきました。 (ハンカチやティッシュを用意し、手や口が汚れたときは拭くようにしよう。そして昼休みに手洗い等をする。) ・どうしても教室を出なくてはならないときには、担任の先生の許可をもらおう。 		
13:05	全員揃って感謝の気持ちを込めて「 ごちそうさまでした! 」		
	<ul style="list-style-type: none"> ○全員で片付けをする。 ※分別をしっかりとる。 ○牛乳パックはつぶす。 ○配膳台係は配膳台をふく。 ○ワゴン係2名で、ワゴンを運ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食器は自分で片付ける ・片付けが終わったら自分の机を前に向け整頓してから休み時間に作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスでの片付けやワゴン点検をしよう。 ・給食当番チェック表を担任の先生に見せ、サインをもらう。 ・白衣の管理をきちんと行う。 (週末に全員持ち帰る) ※月曜日の朝、全員分揃っているかチェックして担任に報告する。
13:15	片付け完了		

【空のパック】
カートンにきれいに並べて回収

【飲み残しのパック】
【全く飲んでいないパック】
牛乳が入っていた缶にきれいに並べて回収

4 清掃について 「床を磨けば 心が光る」

「環境は人を作る」といわれます。きれいで整った環境の中では、人は落ち着いた生活を送り、集中して学習に取り組むことができます。みんなで生活・学習する学校をみんなの力できれいにしましょう。

そして、きれいな環境はよりよい集団を作ります。毎日の清掃活動を与えられた役割として考えるのではなく、自己や集団の力を高める場として、一人ひとりが積極的に清掃に取り組みましょう。分担して10分を効率的に動けるようにしますが、自分の分担が終わったら他の分担を手伝うなどして協力する力も育てていきましょう。

< 清掃3原則 >

- ① **きれいにする**・・・最大の目的は「きれいにする」こと
丁寧にする。すみずみまでやる。磨き上げる。
- ② **みんなでやる**・・・協力をして、目的(きれいにする)を達成する。
平等・公平に役割分担し役割を果たす。
- ③ **進んでやる**・・・やらされるのではなく、自分から進んで取り組む、
よりきれいに、より能率良く、時間いっぱい取り組む。

佐倉中の清掃

1. 清掃場所は生活班(5～6人)で担当する。
2. 班の中で、平等・公平に役割分担をし、協力して責任を果たす。
3. 通常は、毎日10分間行う。
4. 服装は、ジャージまたは体操服で行う。
5. 清掃時は、班の奉仕委員(係)が中心のリーダーとなる。
(班長や副班長と協力をする。)

清掃の基本的な流れ

*裏面の流れをよく見て、10分間集中して無言で取り組みましょう。

清掃活動は班活動

*** 清掃活動は10分間全力で！！床を磨いて心も磨こう！！**

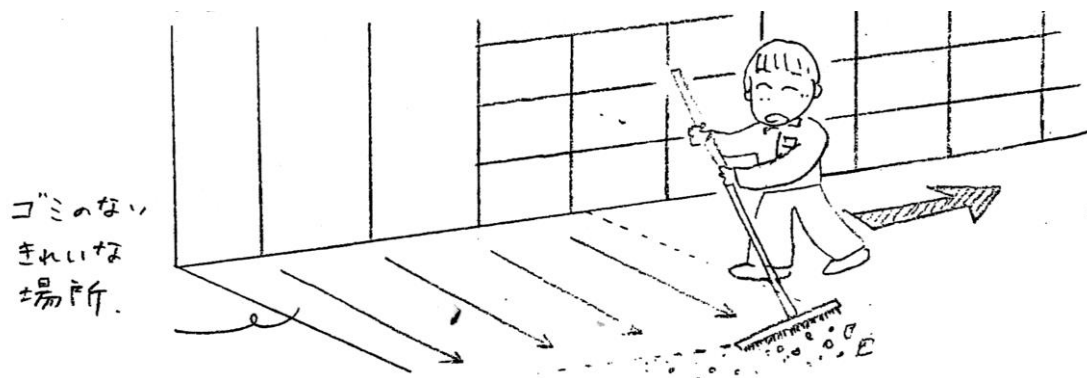
流れ	奉仕委員(係)の活動	班員の活動
朝登校したら		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャージまたは、体操服に着替えておく。 荷物はロッカーの中
出席確認終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・机の片付け、移動の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・素早く清掃場所へ移動
8:15 集合完了	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕委員(係)は雑巾、バケツ等清掃用具の準備 	
清掃開始	<ul style="list-style-type: none"> ・班員全員が平等に清掃を行うように注意をする。 * 清掃場所は2回以上拭く 教室：床用洗剤(マイペット)を使用 廊下他：水拭き ・清掃場所がきれいになっているか点検をして、班員を集める。 ・清掃の反省と挨拶 「〇班、集まってください。」 「今日は、全員2回以上拭くことができ良かったです。」 「気をつけ、礼、ご苦労様でした」 ・清掃点検表の記入、担当の先生の評価とサインをもらう。 ・点検表は、担任の先生に提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・開始から終了まで10分間、自分の分担場所を精一杯清掃しよう。 ・きれいになるまで、責任をもって活動しよう。 ・欠席者や放送部の分担も協力して行おう。 ・規定の分担が終わったら、やれることをどんどん探そう。 ・班全員で分担場所をきれいにする ・雑巾は、きれいにゆすいで、奉仕委員(係)に渡す。 ・大きな声で挨拶をする。 ・清掃点検の内容
8:25 清掃終了		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>清掃点検表</p> <p>「開始時間」</p> <p>「服装」</p> <p>「活動内容」</p> <p>* 3つともAが付くように頑張る</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・急いで教室に戻る → 朝読書 	

清掃の基本技術

1 ほうきの技術

「ゴミを移動させる」のではなく、「きれいな場所を作っていく」のがほうきの心

- (1) 自在ほうきは、壁際から一定の方向に向かって「きれいな場所を作っていく」という意識ではなく。
(ほうきは横方向にはき、後に下がっていく)



- (2) 複数の人数で行うときには、方向をしっかりと決め、ゴミが最後にきちんと集るようにする。

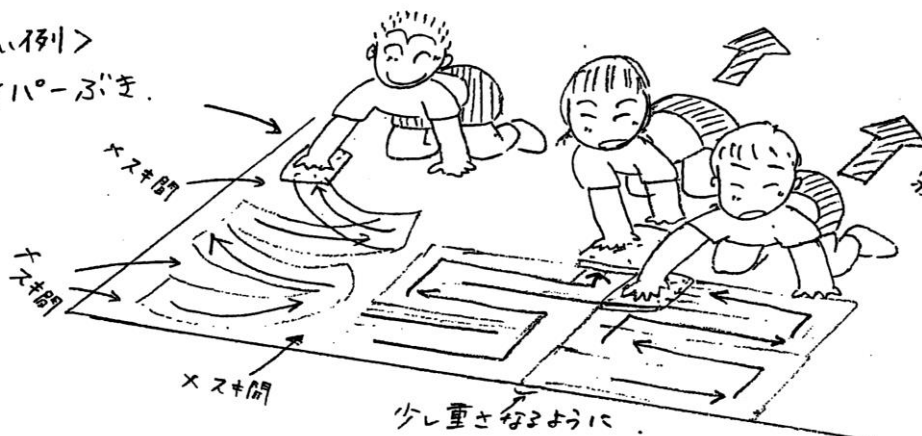
2 雑巾がけの技術

「床を水でぬらす」のではなく、「床を磨きあげる」のが雑巾の心

- (2) 横拭きの技術 ① 雑巾は、固く(きつく)絞る。(びしょびしょにしない)
② 雑巾は2つ折りにして使い、折り返し・裏返し4面を使う。
③ 隙間ができないように、直線・直角になるように拭く。



<悪い例>
ワイパーぶき.



- ④ 床の状況をよく見て拭き、汚れ(シーペンの芯のあと、給食しみなど)を見つけたら、強くこすり落とす。
⑤ ゴミがあれば、集めるように拭く。
⑥ 使用後にはしっかりと洗って、雑巾掛けにきちんと掛ける。

3 ちりとり・小ぼうきの技術

小さなゴミまで見逃さないのが、ちりとり・小ぼうきの心

- ゴミをとるときは、小ぼうきを使い、ちりとりを少しずつ後退させながら、最後の小さなゴミまでとるようにする。
- 小ぼうきは、教室の出入り口のレールや黒板のさん、窓のさん、ストーブの周りなどの細かいところの掃除に適している。



4 バケツの技術

「他の清掃場所(流し・トイレ)に迷惑をかけない」のがバケツの心

- ★バケツの水は流しに捨てずに、トイレの個室(大便器)の中に流す。
- (1)清掃開始直後、きれいな水を汲む。
- (2)途中で汚れたら、一度取り替えに行く。
- (3)最後は、バケツの周りも拭き、バケツの水を流し、バケツもすすいで片付ける。

清掃の方法について（ 教室清掃 ）

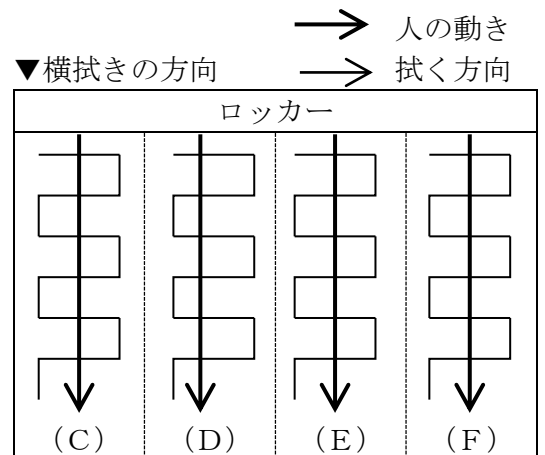
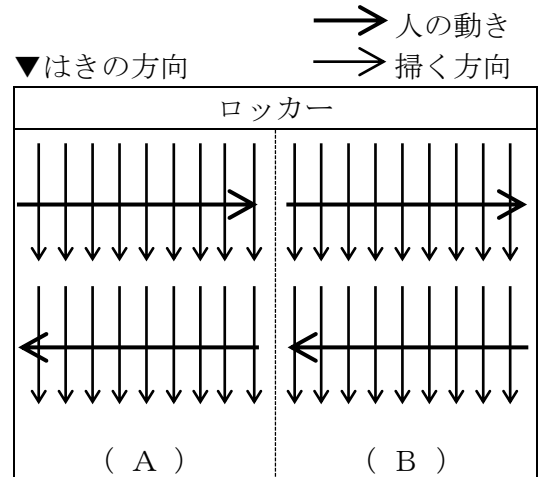
◎朝の会が終わったら、自分のイスをあげ、机を前に運ぶ。（ 全員 ）

★絶対に机を引きずらないこと

＜ 6人班の時の分担 ＞ AB：はき（ 2人 ） B：ちりとり（ はきのうちのひとり ）
 CDEF：ふき（ 4人 ） F：バケツ担当（ ふきのうちの1人 ）

はき	ふき
①教室を左右に分け、後ろから前に掃く。	CDE：雑巾準備（ 1人 ） F：バケツ準備 ①時間差縦拭き 掃き終わった部分を、廊下側から窓側に時間差で縦拭き
②イスの足のゴミ取りや教室の出入口のレールなど	②横拭き 教室を4つに分け、後から前に横拭き
③机が移動した部分から、掃き始める。	③机を引きずらないように後ろに移動（ 1人2列程度 ）
④教室の前方でゴミを集めてとる。（ 用具を片付ける ）	④教室前半分を同じように「 時間差縦拭き 」 「 横拭き 」 をする。
⑤机を移動し椅子をおろし、整頓する。	⑤雑巾を洗い、雑巾かけに掛ける。（ 1人 ） ⑥机を運び、椅子をおろし F：バケツ片付け
班で集合する。 ◆奉仕委員が、清掃点検をし、反省をいう。 ◆号令を掛けて終了	

＜ 教室の図 ＞



※教室前面でも同様に行う。

5 学習に対する基本姿勢

学校は学習する場所。

授業が楽しければ学校は楽しい。

では、どうしたら楽しい勉強、楽しい授業になるのだろうか。

○「何のために学ぶのだろう」を問い続けよう

「何のために学ぶのだろう。」この問いにあなたはなんと答えるでしょうか。社会にでるため？高校へ行くため？勉強は楽しいからという人もいるでしょうか。先生やお家の方や友達の考えにも耳を傾けてみましょう。いろいろな考え方があるはずです。自分なりの「学ぶ意義」や「目的」「目標」を持てると勉強はどんどん楽しくなります。また、難しくなったときもあきらめずに頑張れるものです。

▼自分なりの意見を書いてみよう

○進んで学ぼう

知らなかったことがわかるようになるとうれしい。できないことができるようになる楽しい。不思議だなと思った謎が解けるとすっきりします。もちろん、達するまでに難しかったりつらかったりすることもあるけれど。誰もが「勉強がんばろう」という気持ちを持っています。誰もが「勉強をわかりたい」と思っています。その気持ちを大切に「やらされる勉強」でなく「進んでやる勉強」をしましょう。

○学び方を学ぼう

知識を覚え、技術を習得することと同じくらい重要なのが「学び方」を学ぶことです。いろいろな教科や単元の特性や担当の先生の個性からいろいろな学び方を学びましょう。予習が大切な教科もあれば、復習が重要な教科もあります。声を出すことが必要な単元もあれば、黙々と手を動かすことが力になる単元もあります。何も考えずにただ繰り返す学習もあれば、「なぜだろう」が出発点になる学習もあります。一人で頑張れと迫る先生もいれば、力を合わせることの価値を説く先生もいます。いろいろな教科の先生から様々な学び方を学び、自分の幅を広げ、自分の個性に気づくのもまた大切な勉強です。

○ともに学ぼう

この教室には一緒に学ぶ30数名の仲間がいます。どんどん意見を発表する仲間もいれば、じっくりと考える仲間もいます。覚えるのが苦手な人がいれば、不器用な人もいます。「一人で勉強した方が能率いいなあ」と思うこともたまにはあるけれど、いろいろな個性があるからたくさんの学び方があり、学ぶ楽しさも大きくなるのです。「間違いをおそれずに発表できるクラスにしたい」「私語が多くて授業に集中できないクラスは嫌だ」一人ひとりを大切にして「この仲間と勉強できてよかった」というクラスを作りましょう。

中学校での学び方

① 何よりも授業を大切にする

◎授業の約束

- 1, 2分前に着席し、授業の準備をしよう。
- 2, 授業の始めと終わりには、気持ちの良い挨拶をしよう。
- 3, 自ら課題を持ち、進んで学習に取り組もう。
- 4, 話をする人の方を向き、目を見て話を聞こう。
- 5, 指名されたら返事をし、自分の考えを進んで発表しよう。
- 6, 一人ひとりを大切にしたい「ともに学ぶ」学級を作ろう。

(1) 2分前 (時間について)

佐倉中学校は余裕をもって生活できるように授業開始の2分前に着席・準備完了することになっています。学校生活の中で、自分で時計を見て、互いに声を掛け合って時間を守って生活できる力をつけていきましょう。

着替えが必要な時、特別教室での授業があるときは、さらに早めの準備・移動が必要になります。声を掛け合って早めに移動しましょう。

(2) 忘れ物は絶対にしない (授業の準備について)

学習準備の大原則は「忘れ物をしない」ことです。教科系の連絡をよく聞き、毎日生活ノート「飛翔」にしっかり記入し、前日の夜のうちに準備をしましょう。教科書や用品の友達からの貸し借りは認められていません。忘れてしまったときは、教科の先生に授業前に申し出て、指示に従いましょう。

10分休みは次時の授業の準備の時間です。まず準備をしてから休憩する習慣をつけましょう。カバン、バッグはロッカーに入れ、必要なものだけを机の上・中に準備しよう。机を整頓したり、授業に適した服装を整えたり、(週直は)黒板をきれいにしたりするのも大切な授業準備です。また、机の落書き、教科書ノートの落書きは、授業を真に受ける気のない気持ちの表れです。絶対にやめましょう。

(3) 目・耳・口・手を使って (話を聞くこと・発表すること)

学習の基本は「話を聞くこと」です。先生の説明はもちろん、友達の発表のときにも話をしている人の方をしっかりと向き、目を見て話を聞きましょう。集中して話を聞くことで学習内容に関心を持てるようになります。また、質問があるときや自分の意見があるときは、手を挙げてどんどん発言しましょう。自分が積極的に授業に参加することで、理解も深まり授業が楽しくなります。また班やグループ学習のときは、友人と積極的に協力をしたり、助け合ったり、意見を交わしたりしながら勉強しましょう。

(4) ノートは宝物 (ノートについて)

授業でもう一つ大切なことは、ノートをしっかりととることです。ノートは家庭での復習やテスト前の学習になくってはならないものです。また、それだけでなく手を動かしてノートに書くことで、より意識して学習に取り組むことができ、覚えたり理解できたりすることができず。まずは先生が黒板に書いたものをきれいに整理することからはじめ、だんだんと工夫したノートがとれるようにしましょう。

(ノートは、教科ごとに、指示に従って準備しましょう)

② 提出物について

授業での作品やノート・ワークなど、どの教科でも期限を決めて提出物が集められます。これは学習の進み具合を確認することや、どのくらい理解できているか知るためもありますが、第1の目的は一人ひとりの頑張りや取り組みを評価することです。中学校のテストで高得点をとることも大切ですが、それと同じくらい「**取り組み**」や「**頑張り**」を大切にします。苦手な教科でもコツコツと手を抜かずに頑張れる生徒は、これからを伸ばしていける素質があると考えからです。また提出物を定められた日までに提出することは、授業をされた先生への最低限の礼儀・マナーです。「**提出物は遅れずに出す**」ことをしっかりと決意して、実行していきましょう。

③ 家庭学習について

授業だけどんなにまじめに受けていても中学校の学習としては不十分です。教科の先生方は、「生徒は、家でその日の授業内容はしっかりと復習している」と考えて授業を進めています。宿題を出すことや予習の内容を指示してくれる先生もいますが、言われたことだけやるのではなく、**自分で考えて、自分から進んで、自分の力で**、学習に取り組むことが、受験や将来につながる大切な力になります。理想は学年＋1時間ですが、まずは30分からでもいいので、自分から家庭学習に取り組むことを始めてみましょう。

④ 成績・評価について

佐倉中学校は2期制なので、10月と3月に通知票が渡されます。その中で各教科成績が5段階(5・4・3・2・1)、観点別の評価が3段階(A・B・C)で伝えられます。成績・評価は他の人と比べるものではなく、教科の目標をどのくらい達成したか(身についたか)で行っています。自分の努力が十分だったのか、自分の得意なもの苦手ものは何なのか、これからどんな努力をすればよいのか、将来どんな仕事が向いているのか等を考える材料にしてください。

また、学習成績は高校入試に直接影響するものでもあります。3年生になって志望が決まったときに、「**1・2年生の時もっと頑張っておけばよかった**」と後悔する先輩たちも毎年数多くいます。卒業後のことなどまだ先のことと思うと思いますが、あとで後悔しないように、全力で学習に取り組んでいきましょう。

各教科の成績・評価のつけかたについては、各教科担任の先生から説明があります。

⑤ 定期テストについて

(1) 定期テストの意義

- 学習した内容(知識・技能・思考力など)が十分身につけているかを知る。
 - ・自分の特徴(得意・不得意等)を理解する。
 - ・学習方法(授業態度・家庭学習など)が適切であったか振り返る。
 - ・十分身につけていないところを知り、復習等の計画を立てる。
 - ・今後の学習方法(授業態度・家庭学習など)を考える。
- 学習するきっかけとする。
 - ・単元や章などをまとめて復習し「**学習内容の整理**」の力をつける。
 - ・自分から進んで、家庭学習や質問を行う「**自主的な学習**」の力をつける。
 - ・学習計画を立てること、学習方法を工夫するなど「**学び方**」の力をつける。
- 先生にとってもテストは反省の材料になる。
 - ・生徒たちの学習内容の達成状況を把握し、指導方法を反省し、今後の工夫につなげ、不十分な部分を取り返す計画を立てる。
- 成績を客観的につける一番の大きな材料とする。

(2) 定期テストの実施について

- 年4回(6月, 9月, 11月, 2月)
- 国・社・数・理・英の5教科(9月, 2月は, 技術・家庭を含む6教科)
- テスト前4日前から部活動などの諸活動が停止になる。

(3) 定期テストの受け方

- ・座席は出席番号順・・・きちんと整頓する。
- ・服装は制服(正装)・・・きちんと整える。
- ・机の中は空にする・・・荷物は椅子の下に置く。
- ・机の上は筆記用具のみ・・・落書き等ないか確認する。
(鉛筆, シャーペン, 消しゴム, 定規セット)筆箱・下敷きは不可。必要な時は申し出る。
- ・テスト開始5分前着席・・・準備を完了して座る。
- ・はじめと終わりには, 元気に気持ちの良い挨拶をする。
- ・テスト用紙配布中は無言。
- ・先生の「はじめ」の合図でテスト開始。(合図があるまで問題見ない, 名前書かない)
- ・テスト中のものの貸し借りは禁止。
- ・必要があるときは手を挙げる。(ミスプリント, 用具の落下, 体調不良, 環境不良他)
- ・不審と思われる行為・行動はしない。
(キョロキョロ, 机の中への用具の出し入れ 友人への目配せ・ささやき, 物音を立てる他)
- ・時間いっぱい最後までテストに取り組む。(あきらめない, 寝ない, 遊ばない, 他)
- ・先生の「やめ」の合図で鉛筆を置く・・・無言。
- ・一番後ろの席の人が出席番号順に回収し, 級長・副級長が確認をする。
(他の生徒は, 立ち歩いたり, 話したりせず, 静かに待つ。)
- ・問題用紙はきちんとファイルしておく。